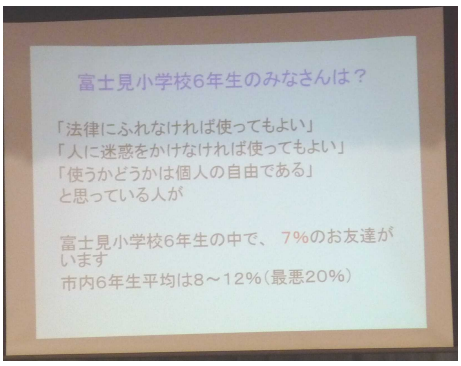
6年
薬物乱用防止教室

9月13日（火）

ダメ！ぜったい！！ 薬物乱用

６年生を対象に宇都宮中央ライオンズクラブの皆様による薬物乱用防止教室が開かれました。子どもたちが薬物の危険性を十分に認識し，誘われても断る勇気や断り方を学習しました。

薬物は人生を壊す危険な薬です。身近な人に勧められたり，偶然参加した集まりや海外旅行先でつい手を出したりしてしまうケースがほとんどだそうです。「やせる薬だから」「疲れが取れる」「いやなことを忘れられる」「頭がさえて元気になる」などと親切に見せかけた誘いの言葉には，絶対乗せられてはいけません。「一度だけ」と思っていても，薬物の強烈な依存性によりやめられなくなります。「栃木県では平成 27 年 10 月に危険ドラッグの規制を強化するための条例を制定しました。



日本で最も乱用されている薬物は「覚せい剤」ですが，「大麻」の乱用者が増加しています。「危険ドラッグ」がインターネット等で「お香」「ハーブ」「アロマオイル」などと称して，身がいな製品を装って販売されているので注意が必要です。

もし，誘われた場合，どのように断ればよいのか，実演を通して学びました。

学習後の提出された感想には，薬物の怖さを知った，誘われたら「はっきり断る」といった言葉がたくさん書かれていました。